

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	放射線性顎骨壊死に伴う病的骨折に対する血管柄付き腓骨皮弁再建術の治療成績に関する後ろ向き研究		
1. 研究の目的と方法	本研究は、放射線治療後に生じる顎骨壊死（放射線性顎骨壊死）により下顎骨が骨折した患者さんに対して行われた再建手術の治療成績を調べることを目的としています。東京慈恵会医科大学附属病院形成外科では、顎骨壊死に伴う骨折に対して、腓骨を用いた再建手術を行っています。本研究では、当院でこの手術を受けた患者さんの診療記録や画像検査の結果をもとに、手術の成績や術後の経過について調査します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018年5月1日～2025年12月31日までの間に東京慈恵会医科大学附属病院の形成外科を受診し、放射線性顎骨壊死の診断を受け根治治療手術と再建手術を施行した患者さん		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	本研究では、診療の際に記録された以下の情報を使用します。年齢、性別、これまでの病気や治療の内容、過去の放射線治療の内容、顎骨壊死の状態、下顎骨の骨折の部位、今まで行われた手術の内容、手術前後に使用した抗菌薬、細菌検査（口の中、骨、傷の部分の培養検査）の結果、血液検査の結果、CTなどの画像検査の結果、手術後の経過（感染や再手術の有無など）	
	(4) 情報の取得の方法	本研究では、東京慈恵会医科大学附属病院形成外科で診療を受けた患者さんの診療記録をもとに、研究に必要な情報を収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座
		氏名	石田勝大
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 石田勝大		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年6月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 研究責任者：教授 石田 勝大（いしだ かつひろ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3481） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。